

2019/2020 年度 第 2 回常任委員会 議事要録

日時: 2019 年 10 月 12 日(土) 14:00-16:50

会場:オンライン会議(ZOOM)

出席者(敬称略):呑海(委員長), 上村(事務局長), 小山, 西脇(記録), 和知(以上, 常任), 青山, 野崎(以上, 通信常任)

1. 報告事項

1.1 小委員会・事務局

- ・今期の体制について, 前回の常任委員会の検討内容を確認した。
- ・会誌執筆要領の確定については 2017 年会員総会で承認されているので確認することとした。
- ・50 周年記念出版物については, メールベースで進めることとした。
- ・運営サポート会員募集記事を会報に掲載する件については上村事務局長が記事を作成し 12 月号に掲載することとした。募集する小委員会・WG は研究企画、会報、会誌、広報、記念出版物、海外ツアー、全国大会 WG。

1.1.1 全国大会小委員会 (担当: 赤澤小委員長)

- ・2021 年度の開催地について, 秋田の方向で検討を進めることとした。会場については, 秋田市内の駅近辺などをあたる。

1.1.2 研究企画小委員会 (担当: 西脇小委員長) [報告事項なし]

1.1.3 会報編集小委員会 (担当: 上村小委員長)

1) 編集作業進捗状況報告[→報告資料 1]

- ・10~12 月号はおおむね順調に進行中と報告があった。今後, 巻頭言の順番決定など, 1 月号からの準備が必要となる。

2) 『大学の図書館』の EBSCO 社データベースへの採録進捗報告[報告資料なし]

- ・継続検討とした。

1.1.4 会誌編集小委員会 (担当: 和知小委員長)

- ・10月中旬の査読締切までは進捗はないが, 次号の原稿募集をかける必要もあるため, 4 月末締切として募集原稿案は DTK-ML に流す前に常任 ML で確認することとした。

1.1.5 広報小委員会 (担当: 和知小委員長) [報告事項なし]

1.1.6 五十周年記念事業記念出版物編集小委員会 (担当: 呑海小委員長) [報告事項なし]

1.1.7 五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会 (担当: 牛島小委員長)

1) 公費参加のための問い合わせ[報告資料なし]

- ・「所属大学での公費にて参加を考えている。獲得に向けて詳細を知りたい。」という問い合わせがあり回答内容検討中である。

1.1.8 五十周年記念事業大学図書館問題研究会の名称に係る検討小委員会 (担当: 和知小委員長) [報告事項なし]

1.1.10 事務局（担当：上村事務局長）

1) 事務局業務進捗報告

・2019/09/29(日) 2019/2020 年度第 1 回常任委員会
・全国委員会 ML 登録用メールアドレスを今期用に照会中。第 2 回の全国委員会の候補について、回答がまだ集まっていないため再度連絡することとした。

2) 事務局出版担当報告（担当：市村運営サポート会員）[→報告資料 2]

1.1.11 事務局会計担当（担当：上村事務局長・野寄委員）

1) 収支状況報告[→報告資料 3]

1.1.12 事務局会費徴収担当（担当：渡邊委員・長坂委員）

1) 会費納入状況[→報告事項 4-5]

2) 地域グループ別会費納入状況[→報告資料 6]

1.1.13 事務局組織担当（担当：青山委員）

1) 会員現況報告[報告資料 7]

・9 月末に退会者を反映させたところ、現在会員数 400 名を切っていると報告があった。

2) 会員情報悉皆調査[報告資料なし]

・回答率は特に変更なし、回答調査に関するトラブルは解消されたと報告があった。

1.2 ワーキンググループ

1.2.1 全国大会 WG（担当：赤澤 WG 長）[報告事項なし]

1.2.2 出版・管理 WG（担当：呑海 WG 長）

・刊行物の出版・発送・保管に関する業務外部委託について地元業者に確認したところ、かなりコストが見込まれるため、業者選定やスケジュールなどは今後も継続検討すると報告があった。

2. 審議事項

2.1 第 1 回常任委員会議事要録確認（担当：牛島委員）

・前回議事要録は未提出。

2.2 今期小委員会・WG の決定[承前]（担当：呑海委員長）[→審議資料 1-2]

・報告事項 1.1 に含む。

2.3 第 51 回全国大会の準備体制等（担当：呑海委員長・赤澤小委員長）[→審議資料 3-4]

・報告事項 1.1.1 も参照。秋田開催の方向で検討する。ML など現地会員とも情報共有しながら早めに議論を進めたい。

2.4 大図研会員の地域グループ参加への対応について[承前]（担当：西脇小委員長）[→審議資料 5]

・これまでの議論の経緯説明とともに 10 月末期限で照会を行う。次年度から適用を前提に各地域グループ照会をかけ、得られた回答を次回常任で検討することとした。

2.5 シンボルマーク募集要項の検討[承前]（担当：和知小委員長）[→審議資料 6]

- ・募集期間は 11 月末を提出期限とし、会報・ML・SNS 掲載、応募作品は小委員会で選定し、常任委員会・全国委員会で選考することとした。会報 7・8 月号のいずれかに最優秀作品を発表。最優秀作品に合わせて授賞式は全国大会で行う予定。
- ・応募者には全員に結果を通知する。
- ・要項の表記について、3 も「応募期間」とし、その他の表記の修正についても確認した。
- ・複数人による提出(地域グループなど)も可と確認した。

2.6 シンボルマーク応募用紙の検討[承前] (担当: 和知小委員長) [→審議資料 7]

- ・「所属先」は大学などの機関名とし、地域グループではない点、作品解説については、そのまま Web などでも公開できるように欄外にその点について追記することとした。

2.7 第 50 回全国大会(神戸大会)の残余金の扱い (担当: 上村事務局長)

- ・全国大会の会計は 30 万円弱の黒字となり、通常では地域グループに 3 分の 1 配分となる。今回は実行委員会形式での運営ではあったが、兵庫地域グループとして要望はあったため、全国委員会の審議事項にあげることにした。

2.8 事務局住所等の変更[承前] (担当: 上村事務局長) [審議資料なし]

- ・検討事項・内容は下記の通りである。
 - 住所(郵便物) 変更する場合は会員向けに周知が必要。文教大学の住所明記(半年間)が困難になった場合、代替案がなければ筑波大学に変更する。レターパックでまとめて郵送することは可能。
 - 電話 安価な PHS(通話可能なもの)などを事務局長が契約する形で当面对応する。
 - Fax 事務局本体のものはなしとする。

2.9 大図研公印及び全国大会実行委員公印の陰影印刷の可否[承前] (担当: 上村事務局長) [審議資料なし]

- ・現在、大図研公印としては、大図研印と、全国大会実行委員会印の 2 種類があるが、業務効率化を図るため、原則として陰影印刷としたい旨の提案があり、商習慣上も問題ないため、全国大会実行委員会印についてのみ陰影印刷で運用することとした(大図研公印は対象外とした)。また、画像管理については利用規定などを整備することとした。

2.10 図問研からの文書の扱い (担当: 上村事務局長) [→審議資料 8]

- ・文書を確認した。

2.11 常任委員会 Office365 のパスワード変更[承前] (担当: 上村事務局長) [審議資料なし]

- ・パスワード変更については、会報 12 月号が出るまで行わないとしたが変更時期などについては引き続き検討することとした。

2.12 会員悉皆調査のグループへのフィードバック[承前] (担当: 上村事務局長・組織担当委員) [→審議資料 9]

- ・次回全国委員会で各地域グループに会員名簿について照会依頼を行い、データを送る方法で進めることとした。スケジュールとしては、各地域からの回答期限を1月末と設定し、2-3月に調査結果と照合することとした。悉皆調査回答の督促を DTKML や、可能なら会報再掲載でも行うこととした。

2.13 その他

・6/30 付の除籍者については、通常の退会者と同じ形で地域グループ宛に連絡することを確認した。9月以降2019/2020年度分の会費が送られてきたケースについては返金することを確認した。

・会員情報を会報に載せた方がいいのでは(できれば毎月、少なくとも四半期など)との意見が出たが、除籍者の掲載はむずかしい。

3. 次回常任委員会開催予定 12月1日(日)

以上